

3 学校教育の充実

基本目標1 「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもち、社会を生き抜く力を育む学校教育の充実

社会が激しく変化する中で、次世代を担う子どもたちが、「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもつとともに、生涯にわたり、自ら学び、考え、協働して課題を解決する力を身に付けることができるように、「主体的に」、「協働的に」学ぶ取組を進めます。

【令和7年度当初予算の主な事業】

(1) 社会のニーズに応じた教育の推進

○ 休日部活動地域移行モデル事業の実施（学校教育振興一般事業）

869万8千円（昨年度：927万円）

生徒がスポーツ、文化芸術活動に取り組むことができる環境の整備及び教員の働き方改革の推進を図るため、中学校における休日部活動地域移行モデル事業を引き続き実施するとともに、将来的な地域展開に向けた連携体制の検討を行います。

○ 財務関係処理の事務センターへの集約（学校教育振興一般事業） 588万8千円

各学校（共同事務室）で行っていた財務関係処理を学校教育課の事務センターに集約して行います。

○ 安全で効果的な水泳授業の推進（小学校教育振興一般事業・中学校教育振興一般事業）

3,130万9千円（昨年度：1,830万7千円）

児童生徒の泳力の向上及び教員の働き方改革の推進を図るため、小・中学校における水泳指導の業務委託の実施校を追加し、民間事業者の施設・ノウハウを活用した水泳授業を実施します。

○ 「はつかいちの未来を築く ディスカッション」事業の実施（学校教育振興一般事業）

20万円

課題の解決に向けて当事者意識を持ち、考え、判断したことを根拠や理由に基づいて説明したり、他者の主張を踏まえて議論したりすることを通して、主権者としての資質・能力の育成に努めます。

(2) 子ども達の状況に応じた教育や心の教育の推進

○ 給食費負担の軽減（学校給食管理運営事業）

7,496万5千円（昨年度：7,589万5千円）

物価高騰に伴う給食費の負担増加を軽減するため、小・中学校の給食費に対し支援を行います。

○ 子ども相談室大野教室の運営（不登校総合対策事業） 754万4千円（昨年度：357万円）

子ども相談室大野教室を移転し、より落ち着いて過ごせる環境整備を行います。

- **特別支援学級への支援(不登校総合対策事業)** **1億9,061万円**（昨年度：8,896万1千円）
子どもつながり支援員の勤務時間及び人数を拡充し、特別支援学級に在籍する発達障がい等のある児童生徒に対する特別な教育的支援の充実を図ります。